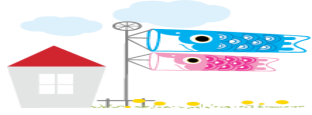


Manna&Babyこどもクリニック通信

福岡市城南区長尾4丁目
6-17
TEL 092-866-8800
http://
mannaandbaby.or.jp/
アイチケット順番とり
http://paa.jp/t/188601/



第19号
平成23年5月

五月に入り、お日さまの光がさんさんと降り注ぎ、風が心地よい季節になりました。ゴールデンウィークは、楽しく過ごされましたか？ご家族でお弁当を持ってピクニックをしたり、キャンプを楽しんだりしたのではないのでしょうか。お子様達にとっては、草むらにいるカマキリやちょうちよにてんとう虫達は、ステキなお友達です。きっと、いろんな発見が生まれ五感を育ててくれるでしょうね。かわいい体験談を教えてください。しかし、黄砂の飛散の多い日の外出は控えめにしましょう。

Manna&Babyこどもクリニックのとある1日

日常に追われ、周囲の誰もが自分のことで精一杯。そのような時、自分のありのままを受け入れ、優しくされるとこの上ない喜びにつながります。

4月30日のクリニックは連休前ということもあり、多くの患者様でいっぱいでした。当然、待ち時間も長くなり、お叱りの言葉を頂く事も覚悟していた時、“大変ですね、頑張ってくださいね。”と何人もの患者様からスタッフに声を掛けていただきました。スタッフは“嬉しかった”“有り難かった”と口々に伝え合っていました。スタッフと患者様との間にある心の絆を感じました。又、友情に近いもののようにも思えました。日常の中にある小さな幸せを見つけることができました。

《早寝、早起きは三文の得》

福岡市の幼児の生活習慣調査報告によると、テレビを見る時間が長いほど就寝時間が遅い傾向にあります。就寝時間が遅いと朝食を食べない傾向にあります。平成16年と平成21年の比較では、22時以降に就寝の割合が5割から4割に減少しています。それに伴い、朝食摂取の割合が8割から9割に増えています。また、食への関心として、両親が“食育”という言葉を見聞きした割合が7割から9割に増えているという報告結果になりました。

生活リズムのポイントとして

- ①就寝前のテレビを控える。テレビの時間をできるだけ短くする。できれば、1日1～2時間。
- ②天気の良い日は外で遊ぶ。
- ③父親も遊びに関わり、家族のコミュニケーションを深める。
- ④早寝早起きと朝食を食べる。



《アレルギーの今は……》

先日、福岡病院の柴田留美子先生の講演会に参加しました。アレルギーの専門病院である福岡病院の来院患者の内訳で20年前は、喘息の割合が半数を超えていました。また、アトピー性皮膚炎が急増している時代でしたが、今では、喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギーの割合がほぼ同じになりました。傾向として、喘息、アトピー性皮膚炎は、減少傾向にあり、食物アレルギーが増加傾向になっています。



小児看護～採血について～



血液検査は、診察の手助けとして注射器で血液を少しだけ採取して確かめる検査です。でも、子どもたちにとってドキドキの採血の時間です。もしかしたら、青天のへきれきかもしれません。泣いて感情を表す子、逃げまわる子、お母さん呼び続ける子、恐いの見たさにずっと覗き込んでいる子、反対にのけぞって反対を向く子、一生懸命耐えている子、苦笑いする子。そんな子どもたちに私達小児看護師は「何でその検査をしないといけないのか」や「動くといけないので固定すること」などを理解度に合わせて説明をしています。

又、採血中でも、「これからチクンするよ」「もうすぐ終わるから、もう少し頑張ってくださいね」など声かけを行なっています。終わったあとは、泣いていても「よく頑張ったね!」「えらかったよ!」と伝えると泣き笑いしながら、照れくさそうに笑ってくれます。

子どもたちも痛い嫌な検査を頑張っているのだから、出来る限りその頑張りをたくさん誉めるように心掛けています。それと、私達のことを嫌いにならないでね♡

by M・E

保育士の紹介

2月末より、保育士として勤務しております二宮です。午前中に来院された方は一度くらいはお会いできたかと思えます。

少しの待ち時間の間や、少し憂うつに感じがちな注射の時など、少しでも気持ちよく楽に出来たらいいなと思いながら子どもたちに接しています。

病院での保育士としての勤務は初めてで、思いつくかぎりの事はしているつもりですが、保護者の方より、何かして欲しい事やお気付きの点がございましたら、お声掛け下さい。

すでに、何人かの子どもたちは私の名前を覚えてくれていて、保育士の先生として接して「二宮先生、遊ぼう」と声掛けてきてとってもうれしく思っています。これからもよろしくお願いします。



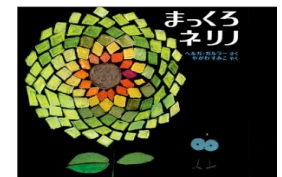
絵本の紹介 『まっくろネノリ』



『まっくろネノリ』は、1968年に書かれたヘルガ=ガルラーさんの初めての絵本で、その年のオーストリアの子どもの本の最優秀賞に選ばれました。

まっくろネノリは、兄弟にも仲間はずれにされていつもひとりぼっち。けれども、ある日兄さんたちが行方不明になって…

しみりと味わい深く、心温まる作品です。ソフトなパステル画が魅力的です。子ども達が『まっくろネノリ』を捜すのに夢中になりますよ!!!



“マナンドコの育児サークルの会員募集をしております”